

2014年9月施行症例の集計結果/ 概要

施設数	185		
症例数	1778		
年齢	64.1±10.8歳		
男/女	1234 (69.4%) :544 (30.6%)		
セッション回数	1回め	2回め	3回め以上
	1374 77.2%	330 18.6%	74 4.2%
AFの種類	発作性	持続性*	長期持続性
	1154 64.9%	389 21.9%	235 13.2%
血栓塞栓症のリスク (CHA2DS2-VAScなど)	Lone AF (合併症なし)	352	19.8%
	C/心不全	228	12.8%
	H/高血圧	870	48.9%
	A2/75歳以上	256	14.4%
	D/糖尿病	210	11.8%
	S2/脳梗塞・TIA	131	7.4%
	V/血管疾患	99	5.6%
	A/65-74歳	640	36.0%
	Sc/女性	544	30.6%
	CHADS2	1.03±1.01	
	CHA2DS2-VASc	1.89±1.45	
上記に無い基礎疾患	CAD	86	4.8%
	DCM	26	1.5%
	HCM	37	2.1%
	その他の心筋疾患(サルコイドーシスなど)	7	0.4%
	洞不全症候群	87	4.9%
	甲状腺機能亢進症、その既往	34	1.9%
	慢性呼吸器疾患	21	1.2%
	先天性心疾患	17	1.0%
	後天性弁膜症	29	1.6%
	人工透析を要する腎症	21	1.2%
	開心術/術後瘢痕とAFとの関連あり	3	0.2%
	開心術/術後瘢痕とAFの関連無し、不明	15	0.8%
心エコーのデータ	左室駆出分画(EF/%)	63.3±9.7	
	左房径(mm)	40.3±7.1	
	左房容積(ml)	67.8±28.2	
抗不整脈薬の服用歴	ジソピラミド	69	3.9%
	シベンゾリン	213	12.0%
	アプリンジン	83	4.7%
	ピルジカイニド	453	25.5%
	フレカイニド	201	11.3%
	プロパフェノン	48	2.7%
	ベプリジル	334	18.8%
	ソタロール	11	0.6%
	アミオダロン	99	5.6%
	その他(ベラパミルは除く)	59	3.3%

アブレーション前の検査	経食道心エコー/TEE	1360	76.5%
	MRI	19	1.1%
	MDCT	1523	85.7%
治療に要した時間	入室から退室	3.5±1.2時間	
特殊な診断治療機器	CARTO	1223	68.8%
	EnSite	433	24.4%
	イリゲーションカテーテル	1383	77.8%
	クライオバルーン	122	6.9%
	ホットバルーン	0	0.0%
透視	時間(分)	56±38分	
焼灼法 ●以前のPVIが不完全なため追加焼灼したものを含む	PV隔離 上下PV一括隔離	1267	71.3%
	PV隔離 個別隔離	368	20.7%
	PV隔離 Box隔離 (4本一括隔離)	83	4.7%
	PV隔離を行わず	58	3.3%
	PV隔離を行わず (これまでも未施行)	11	0.6%
	右房のCFAE	73	4.1%
	左房のCFAE	162	9.1%
	RA focal	72	4.0%
	LA focal	104	5.8%
	LA 線状/天蓋部	402	22.6%
	LA 線状/僧房弁輪など (PV隔離と天蓋部以外)	304	17.1%
	右房解剖学的峡部	864	48.6%
	SVC/focal or 隔離	294	16.5%
	GPアブレーション	44	2.5%
	冠静脈洞/ focal, linear	72	4.0%
	PLSVC/ focal, linear	4	0.2%
	マーシャル静脈への高周波アブレーション	3	0.2%
	マーシャル静脈へのChemicalアブレーション	21	1.2%
	Roter (Driver)	15	0.8%
	術中も作用を残した抗凝固療法 ●前日まで使用したNOACを含む	ワルファリン	411
ダビガトラン(プラザキサ)		358	20.1%
リバーロキサバン(イグザレルト)		420	23.6%
アピキサバン(エリキュース)		486	27.3%
術中の麻酔方法 ●主なものをひとつ	Minimal sedation	179	10.1%
	意識下鎮静(中等度鎮静)	730	41.1%
	深鎮静: 鎮静に専従する医師による	65	3.7%
	深鎮静: 上記以外による	778	43.8%
	全身麻酔	41	2.3%
鎮静に用いた薬剤	プロポフォール (ディプリバン)	921	51.8%
	デクスメトミジン (プレセデックス)	1094	61.5%
	ミダゾラム (ドルミカム)	171	9.6%
	ペンタゾシン (ソセゴン、ペンタジン)	1036	58.3%
	ヒドロキシジン(アタラックスP)	608	34.2%
	フェンタニル	182	10.2%
	その他	285	16.0%
術中モニター・管理	動脈圧	1469	82.6%
	SpO2	1743	98.0%
	ETCO2	37	2.1%
	BIS	348	19.6%

	ASV/BiPAP	648	36.4%	
	経鼻エアウェイ・経口エアウェイ	374	21.0%	
術中の電氣的除細動	0回	951	53.5%	
	1回	422	23.7%	
	2回	184	10.3%	
	3回	77	4.3%	
	4回以上	100	5.6%	
焼灼後のAF誘発	施行して持続した(5分以上の持続)	164	9.2%	
	施行したが持続しない(5分未満)	724	40.7%	
	施行せず	840	47.2%	
退室時の調律	洞調律	1739	97.8%	
	心房細動	10	0.6%	
	その他の調律	21	1.2%	
合併症	侵襲的治療を要さない心膜液貯留	26	1.5%	
	穿刺を要した心膜液貯留	16	0.9%	
	開胸を要した心膜液貯留	1	0.1%	
	処置を行わなかった弁損傷	0	0.0%	
	外科治療を要した弁損傷	0	0.0%	
	大動脈解離	0	0.0%	
	処置不要の1度の一過性房室ブロック	1	0.1%	
	処置不要の2度以上の一過性房室ブロック	1	0.1%	
	一時的ペースメーカーを行った房室ブロック	0	0.0%	
	恒久型ペースメーカーを要した房室ブロック	1	0.1%	
	洞停止	9	0.5%	
	TIA	0	0.0%	
	脳梗塞	0	0.0%	
	画像検査で確認された無症候の新鮮脳梗塞	1	0.1%	
	気胸	1	0.1%	
	血胸	0	0.0%	
	遷延性横隔神経麻痺	4	0.2%	
	敗血症	0	0.0%	
	心筋梗塞	0	0.0%	
	MIに至らない冠動脈狭窄	0	0.0%	
	空気塞栓	1	0.1%	
	冠静脈洞解離	0	0.0%	
	冠静脈洞狭窄	0	0.0%	
	肺静脈狭窄 (75%以上)	0	0.0%	
	動静脈瘻	4	0.2%	
	穿刺部血腫	11	0.6%	
	後腹膜血腫	3	0.2%	
	仮性動脈瘤	5	0.3%	
	心臓食道瘻	0	0.0%	
	食道神経叢障害/急性胃拡張	2	0.1%	
	その他の重篤な合併症	3	0.2%	
	死亡	0	0.0%	
	退院時の処方	ワルファリン	401	22.6%
		ダビガトラン(プラザキサ)	366	20.6%
リバーロキサバン(イグザレルト)		448	25.2%	
アピキサバン(エリキュース)		525	29.5%	

抗血小板薬(アスピリン等)	132	7.4%
ジソピラミド	17	1.0%
シベンゾリン	84	4.7%
ピルメノール	0	0.0%
アプリンジン	27	1.5%
ピルジカイニド	124	7.0%
フレカイニド	127	7.1%
プロパフェノン	14	0.8%
ソタコール	9	0.5%
ペプリジル	310	17.4%
アミオダロン	86	4.8%
その他の抗不整脈薬	3	0.2%
ベラパミル/ジルチアゼム	95	5.3%
β遮断薬	601	33.8%
ジギタリス	20	1.1%
ACE阻害薬	68	3.8%
ARB	401	22.6%
スタチン	304	17.1%

*不明の5例は持続性にした